

# 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	読書普及活動事業	コード	103205
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課（図書館）	作成者 平林 洋子
--------	--------	---------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	社会教育の充実
		予算科目	読書普及活動費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	図書館法（第1条：図書館の設置及び運営について必要な事項を定める。）		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	おはなし会やイベント、講座等の開催により図書館を身近な存在にし、読書普及を図る。		
目的	対象者	市民	
	意図	読書普及活動を通じて子どもから一般市民まで、読書に関する意欲を喚起する。	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1 子ども読書活動推進会議 9/1、1/19、3/2</p> <p>2 おはなしの森等</p> <p>①おはなしの森&lt;毎週土曜日&gt;・ちいさなおはなしの森&lt;毎月第3火曜日&gt;・日曜日のちいさなおはなしの森&lt;5/13・11/12・1/28&gt; 開催数 59回 参加人数 626人</p> <p>②春だよ！スペシャル 参加人数 延べ42人 ・エプロンシアター、絵本読み聞かせ、パネルシアター、岡谷東高校ボランティア部による大型絵本の読み聞かせ等 4/22 ・としょかんオリエンテーリング 4/22~4/23</p> <p>③夏休み特集おはなしの森 8/2 参加人数 9人 ④こわ〜いおはなしの森 8/5 参加人数 24人 ⑤クリスマス特集 12/23 参加人数 43人</p> <p>3 「うち読でエコ読」事業 ・広報への掲載、うち読本コーナーの設置</p> <p>4 ファーストブックプレゼント事業（10ヶ月児健診時配布） ・配布数 151冊 （※10月~3月）</p> <p>5 子ども工作教室 7/29 参加人数 65人、1/27 参加人数 18人</p> <p>6 としょかん子ども読書まつり&lt;10/28~10/29&gt; ・関係11団体との協力事業 参加人数 延べ678人</p> <p>7 としょかんキッズ（1日図書館員） ・小学4年生から高校生対象 参加人数 23人&lt;※夏休み図書館キッズ11人、春休み図書館キッズ12人&gt;</p> <p>8 おやこルームの開設 ・会議室の空いている時間を開放 利用者 40人</p> <p>9 職員派遣等による普及活動 ・乳幼児学級、乳幼児サークル、10ヶ月健診での読み聞かせ 16回 参加人数 800人</p> <p>10 子ども読書会議 8/4 ・市内7小学校の図書委員、中学生 参加人数 31人</p> <p>11 めいぐるみのおとまり会 11/18~11/19 参加人数 24人</p> <p>12 まちかど図書館事業 ①市内公共施設に設置（ロマネット、諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館） ②出張まちかど図書館（確定申告会場）</p> <p>13 図書リサイクル事業（読書サークル協議会との協働事業） 10/1 ・リサイクル図書数 2,223冊 来館者数 延べ186人</p> <p>14 本の福袋 1/4~1/25（※無くなり次第…3週間） 325冊</p> <p>15 読み聞かせ講座・講演会（おはなしだいすきポポーの木事業） ・6/10(34人)・6/24(61人)・11/12(52人) 参加人数 延べ147人</p> <p>16 図書館DE講座（兼テーマブックスコーナー） ・男女共同参画週間 6/23~29 ・岡谷市防災の日 7月</p> <p>17 読み聞かせ、行事、一般業務ボランティア 参加人数 延べ143人</p>			
前年度の課題への対応	子ども読書活動推進会議や学校図書館教育推進委員会等で情報交換し、意見交換した。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 活動指標（指標名）	読書普及活動事業の開催数			単位
実績値	102	96	99	
*指標の説明	読書普及活動事業の開催数			
② 成果指標（指標名）	事業への参加者数			単位
目標値	4,900	4,400	4,000	4,000
実績値	4,019	3,632	3,050	
達成度	82.0%	82.5%	76.3%	
*指標の説明	読書普及活動事業への参加者数			
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の参加者数の最高値			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	368,727	308,760	130,801	71,000
経常経費	368,727	308,760	130,801	71,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	5,168,727	5,108,760	4,930,801	4,871,000
前年度比		98.8%	96.5%	98.8%
財源内訳				
一般財源	5,168,727	5,108,760	4,930,801	4,871,000
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	50,674	53,216	49,806	
前年度比		105.0%	93.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 84.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 76.3%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせやおはなし会のボランティアのスキルアップを図ったり、底辺拡大が課題である。</li> <li>・ボランティアグループ間の情報交換や協力体制づくりの場となる連絡会の構築が課題である。</li> <li>・生涯読書につながられるような子どもの読書環境の整備や読書活動を支えていく取組が課題である。</li> <li>・幅広い世代に向け、読書環境を整えることが課題である。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせボランティアの実情を踏まえ、受講しやすい講座を設定しスキルアップを図る。</li> <li>・様々な機会をとらえ、情報交換できる場を構築する。</li> <li>・子ども読書活動推進会議や学校図書館教育推進委員会等で子どもの読書環境について情報交換や意見交換し、方策を進めていく。</li> <li>・高齢者世代に向け、図書館利用を勧めるイベントを開催し読書普及を図る。</li> </ul>	
	改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---